



The bridge to possible

データシート

Cisco Public

Cisco Catalyst 9117 シリーズ アクセスポイント

目次

インフラストラクチャの保護	5
Cisco DNA サポート	5
製品仕様	6
ライセンス	14
保証情報	14
シスコの環境保全への取り組み	14
シスコ サービス	15
Cisco Capital	15
スマート アカウント	15

Cisco® Catalyst® 9117 シリーズ アクセスポイントは、復元力とセキュリティ、インテリジェンスを備えた次世代の企業向けアクセスポイントです。



要件の厳しい環境でも安定したパフォーマンスを発揮するハイパーコネクティビティ。Internet of Things (IoT) デバイスと次世代型アプリケーションの急増。セキュリティに対する高度で絶え間ない脅威。すべてに共通して必要なのが復元力を備え高品質の接続を可能にするワイヤレスネットワークであり、高度な分類と封じ込め機能を持つ統合型セキュリティであり、ハードウェアおよびソフトウェアのイノベーションです。これらを通じてネットワークのセキュリティを確保し、自動化と簡素化を実現することで、初めてこうしたニーズに応えられます。そのために既存のワイヤレス インフラストラクチャを一新することは、今日のデジタルビジネスが最も優先すべき事項です。新世代の Cisco Catalyst 9100 アクセスポイントは高性能な Wi-Fi 6 (802.11ax) を搭載するほか、RF 性能とセキュリティ面および分析面の革新的な進化により、エンドツーエンドのデジタル化が可能になりました。従来の Wi-Fi を超えるネットワーク性能で、ビジネスサービスの展開を加速させます。

Catalyst 9117 シリーズを使用すると、リモートワーカーやマイクロオフィスを保護できます。Cisco Aironet または Catalyst アクセスポイントは、OfficeExtend アクセスポイント (OEAP) として機能できます。OEAP を使用すると、自宅または一時的なマイクロオフィスにいる従業員は、VPN を設定したり、高度な技術的知識を必要としたりすることなく、企業の SSID と企業ネットワークにアクセスできます。

Catalyst 9117 シリーズはシスコのインテントベース ネットワークに対応し、あらゆる規模のネットワークをサポートします。IoT の高まる需要に応えつつ、最新のイノベーションや革新的な技術のすべてをカバーしています。また、Catalyst 9117 シリーズは、業界をリードするパフォーマンス、セキュリティ、および分析機能も備えています。

Catalyst 9117 シリーズ アクセスポイントは、Cisco Digital Network Architecture (Cisco DNA) と組み合わせることで、当面のニーズだけでなく将来的なニーズも満たせるエンタープライズクラス製品になります。このシリーズは、既存のネットワークに新しい機能を取り入れ、Wi-Fi 6 のすべての機能と利点を余すことなく活用するための第一歩として最適です。

表 1. 機能とメリット

機能	利点
802.11ax (Wi-Fi 6)	新しい標準規格である IEEE 802.11ax (別名 High-Efficiency-Wireless (HEW) または Wi-Fi 6) は、802.11ac を基盤とする技術です。通常環境ではより優れたエクスペリエンスを実現し、4K または 8K ビデオ、高密度高精度のコラボレーションアプリケーション、オールワイヤレスオフィス、IoT などの高度なアプリケーションでも、安定した性能を発揮できます。802.11ax では 2.4 GHz と 5 GHz 両方の帯域を使用するように設計されている点が、802.11ac 規格とは異なります。
802.11ac Wave 2 のサポート	最高 3.5 Gbps の接続率を実現できます。これは現在のハイエンドな 802.11ac アクセスポイントよりも大幅に高速なレートです。
OFDMA	OFDMA ベースのスケジューリングにより帯域幅をリソースユニット (RU) という小さいまとまりの単位に分割します。RU は個々のクライアントに対してダウンリンクの方向のみ割り当てることができ、オーバーヘッドと遅延の軽減につながります。
MU-MIMO テクノロジー	MU-MIMO では 8 つの空間ストリームをサポートしているため、アクセスポイントはクライアントデバイス間で空間ストリームを分割できるようになり、スループットを最大化できます。
ターゲット起動時間	クライアントはターゲット起動時間 (TWT) という新しい省電力モードでスリープ状態を維持し、あらかじめスケジュールされた (ターゲット) 時間にのみ起動して AP とデータを交換します。これにより、バッテリー駆動デバイスでは 802.11n および 802.11ac と比較して最大 3 ~ 4 倍の大幅な省電力を実現できます。
組み込み Catalyst ワイヤレスコントローラ	9117 シリーズ Wi-Fi 6 アクセスポイントは、組み込みコントローラで使用できます。Catalyst 9100 アクセスポイントでの Cisco Embedded Wireless Controller は、物理アプライアンスを必要としない、導入と管理が容易なオプションです。コントロールはアクセスポイントに存在するため、追加のフットプリントや複雑さはありません。また、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラのコードを使用しているため、ニーズの拡大に合わせてネットワークを簡単に移行できます。詳細については、 EWC を参照してください
ユーザ定義ネットワーク	Cisco DNA Center で使用可能な機能により、IT 部門はエンドユーザに共有ネットワーク上の独自のワイヤレス ネットワーク パーティションの制御を任せることができます。エンドユーザは、このネットワークにデバイスをリモートで安全に導入できます。大学の学生寮や長期の病院での滞在に最適な Cisco User Defined Network は、デバイスのセキュリティと制御の両方を提供し、各ユーザはネットワークに接続できるユーザを選択できます。(2020 年の後半に発売されます。) 詳細については、UDN を参照してください。
マルチギガビット イーサネットのサポート	100 Mbps と 1 Gbps に加え、5 Gbps のアップリンク速度を実現します。業界で初めて、すべての速度を 10GBASE-T (IEEE 802.3bz) 配線だけでなくカテゴリ 5e 配線でもサポートします。
Bluetooth 5.0	Bluetooth Low Energy (BLE) 5.0 無線技術を取り入れたことで、ロケーション追跡や経路案内など IoT 向けの用途にも利用できます。

機能	利点
Apple 機能	<p>Apple 社とシスコは相互連携し、シスコのテクノロジーをベースとするソリューションを開発し、社内ネットワーク上での iOS モバイルエクスペリエンスを最適化しました。iOS 10 の新機能とシスコの最新ソフトウェアやハードウェアを組み合わせることにより、ネットワーク インフラストラクチャをさらに効果的に活用し、すべてのビジネスアプリケーションでユーザエクスペリエンスを向上できるようになりました。</p> <p>コラボレーションの中心にあるのが Cisco WLAN および Apple デバイス間の独自のハンドシェイクです。このハンドシェイクにより、Cisco WLAN は最適な Wi-Fi ローミングエクスペリエンスを Apple デバイスに提供することができます。さらに、Cisco WLAN は Apple デバイスを信頼し、Apple デバイスで指定されたビジネスに不可欠なアプリケーションを優先的に処理します。この機能はファストレーンとも呼ばれます。</p>

Wi-Fi 6 の詳細については、Wi-Fi 6 に関する[シスコのテクニカルホワイトペーパー](#)をご確認ください。

C9117 機能のサポートの詳細については、[シスコの機能マトリックス](#)を参照してください。

インフラストラクチャの保護

Cisco Trust Anchor テクノロジーで構築された Trustworthy システムにより、シスコ製品のための、安全性の高い基盤が提供されます。Cisco Catalyst 9100 アクセスポイントでは、こうしたテクノロジーによりハードウェアとソフトウェアの認証のアシユアランスを有効にしてサプライチェーンの信頼性を高め、ソフトウェアとファームウェアへの中間者攻撃に対する防御を強化できます。Trust Anchor の機能には、次のようなものがあります。

- イメージ署名
- セキュアブート：
- シスコのトラストアンカーモジュール

Cisco DNA サポート

Catalyst 9117 シリーズ アクセスポイントを Cisco DNA と組み合わせると、総合的なネットワークの変革が可能です。Cisco DNA では、リアルタイム分析によりネットワークを十分に理解し、セキュリティ脅威をすばやく検出して封じ込め、自動化と仮想化によりネットワーク全体の一貫性を容易に実現できます。Catalyst 9117 シリーズ アクセスポイントは、シスコの先進的な企業向けアーキテクチャである SD-Access をサポートしています。

Catalyst 9117 シリーズと Cisco DNA の連携によって、次の機能を利用できます。

- Cisco DNA Spaces
- Cisco Identity Services Engine
- Cisco DNA アナリティクスとアシユアランス

その結果ネットワークは関係性を維持し、デジタル対応になり、組織で大いに活用されます。

注： Cisco DNA については、[Cisco DNA](#) を参照してください

製品仕様

表 2. 仕様

項目	仕様
製品番号	<p>Cisco Catalyst 9117AXI アクセスポイント：屋内環境向け（内蔵アンテナ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● C9117AXI-x : Cisco Catalyst 9117 <p>Cisco Catalyst 9117AXI アクセスポイント：屋内環境向け（内蔵アンテナ、組み込み型ワイヤレスコントローラ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● C9117AXI-EWC-x : Cisco Catalyst 9117 <p>規制ドメイン：（x = 規制ドメイン）</p> <p>お客様の国における使用認可をご確認ください。認可状況および特定の国に対応する規制ドメインを確認するには、https://www.cisco.com/go/aironet/compliance を参照してください。</p> <p>すべての規制ドメインで認可されているわけではありません。認可され次第、グローバル価格表に製品番号が記載されます。</p> <p>Cisco Wireless LAN サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AS-WLAN-CNSLT : Cisco Wireless LAN Network Planning and Design サービス ● AS-WLAN-CNSLT : Cisco Wireless LAN 802.11n 移行サービス ● AS-WLAN-CNSLT : Cisco Wireless LAN Performance and Security Assessment サービス
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ● Cisco Unified Wireless Network ソフトウェアリリース 8.9 以降 ● Cisco IOS® XE ソフトウェアリリース 16.11 以降
サポート対象の Wireless LAN コントローラ	<ul style="list-style-type: none"> ● Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ ● Cisco 3500、5520、8540 シリーズ ワイヤレス コントローラおよび Cisco Virtual Wireless Controller
802.11n バージョン 2.0 および関連機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 5 GHz 帯域に対応する 4 空間ストリームの 8 X 8 MIMO ● 2.4 GHz 帯域に対応する 4 空間ストリームの 4 X 4 MIMO ● 最大比合成（MRC） ● 20 および 40 MHz チャンネル ● 最大 600 Mbps の PHY データレート（5 GHz で 40 MHz） ● パケット集約：A-MPDU（送受信）、A-MSDU（送受信） ● Cyclic Shift Diversity（CSD）サポート
802.11ac	<ul style="list-style-type: none"> ● 8 空間ストリームの 8 X 8 ダウンリンク MU-MIMO ● MRC ● 802.11ac ビームフォーミング ● 20、40、80、160 MHz チャンネル ● 5 GHz で最大 3.5 Gbps の PHY データレート ● パケット集約：A-MPDU（送受信）、A-MSDU（送受信） ● CSD サポート ● 160 MHz は 4 空間ストリームでのみサポート

項目	仕様																												
802.11ax	<ul style="list-style-type: none"> 5 GHz 帯域に対応する 8 空間ストリームの 8 X 8 MIMO 2.4 GHz 帯域に対応する 4 空間ストリームの 4 X 4 MIMO ダウンリンク OFDMA TWT MRC 802.11ax ビームフォーミング 20、40、80、160 MHz チャンネル 5 GHz で最大 5 Gbps の PHY データレート パケット集約 : A-MPDU (送受信)、A-MSDU (送受信) CSD サポート 																												
内蔵アンテナ	<ul style="list-style-type: none"> 2.4 GHz、ピークゲイン 4 dBi、内蔵アンテナ、全水平方向 5 GHz、ピークゲイン 6 dBi、内蔵アンテナ、全水平方向 																												
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> 1 X 100、1000、2500、5000 マルチギガビット イーサネット (RJ-45) - IEEE 802.3bz 管理コンソールポート (RJ-45) 最大 4.5W の USB 2.0 (将来のソフトウェアで有効) 																												
インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> ステータス LED によるブートローダステータス、アソシエーションステータス、動作ステータス、ブートローダ警告、ブートローダエラーの表示 																												
寸法 (幅 X 奥行 X 高さ)	<ul style="list-style-type: none"> アクセスポイント (取り付けブラケットおよび取り付け機能なし) : 22 X 22 X 4.93 cm (8.70 X 8.70 X 1.94 インチ) アクセスポイント (取り付けブラケットなし) : 22 X 22 X 5.56 cm (8.70 X 8.70 X 2.19 インチ) 																												
重量	<ul style="list-style-type: none"> 1.4 kg (3.02 ポンド) 																												
入力電力要件	<ul style="list-style-type: none"> 802.3at Power over Ethernet Plus (PoE+)、802.3bt Cisco Universal PoE (Cisco UPOE+、Cisco UPOE®) Cisco パワーインジェクタ、AIR-PWRINJ6= 802.3af PoE Cisco パワーインジェクタ、AIR-PWRINJ5= (注 : このインジェクタは 802.3af のみをサポートします) <p>注 : 802.3af PoE が電力源の場合、2.4 GHz 帯および 5 GHz 帯の無線の両方が 2 X 2 に縮小され、イーサネットは 2.5 Gbps にダウングレードします。さらに、USB ポートがオフになります。</p>																												
給電規格	<p>802.3bt Cisco UPOE+ Cisco UPOE (全機能)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>電源</th> <th>電源の種類</th> <th>2.4 GHz 無線</th> <th>5 GHz 無線</th> <th>リンク速度</th> <th>USB</th> <th>LLDP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>802.3bt Cisco UPOE+、Cisco UPOE</td> <td>PoE</td> <td>4 X 4</td> <td>8 x 8</td> <td>5 Gbps</td> <td>Y</td> <td>28.9W</td> </tr> </tbody> </table> <p>802.3at (全機能) *</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>電源</th> <th>電源の種類</th> <th>2.4 GHz 無線</th> <th>5 GHz 無線</th> <th>リンク速度</th> <th>USB</th> <th>LLDP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>802.3at</td> <td>PoE</td> <td>4 X 4</td> <td>8 x 8</td> <td>5 Gbps</td> <td>N</td> <td>25.4 W</td> </tr> </tbody> </table>	電源	電源の種類	2.4 GHz 無線	5 GHz 無線	リンク速度	USB	LLDP	802.3bt Cisco UPOE+、Cisco UPOE	PoE	4 X 4	8 x 8	5 Gbps	Y	28.9W	電源	電源の種類	2.4 GHz 無線	5 GHz 無線	リンク速度	USB	LLDP	802.3at	PoE	4 X 4	8 x 8	5 Gbps	N	25.4 W
電源	電源の種類	2.4 GHz 無線	5 GHz 無線	リンク速度	USB	LLDP																							
802.3bt Cisco UPOE+、Cisco UPOE	PoE	4 X 4	8 x 8	5 Gbps	Y	28.9W																							
電源	電源の種類	2.4 GHz 無線	5 GHz 無線	リンク速度	USB	LLDP																							
802.3at	PoE	4 X 4	8 x 8	5 Gbps	N	25.4 W																							

項目	仕様						
	802.3af (縮小状態の機能)						
	電源	電源の種類	2.4 GHz 無線	5 GHz 無線	リンク速度	USB	LLDP
	802.3af	PoE	2 X 2	2 X 2	2.5 Gbps	N	13.5W
	* USB ポートは有効にできますが、5 GHz の無線は 4 x 4 になります。						
環境	<ul style="list-style-type: none"> 非動作 (保管) 温度 : -30 ~ 70°C (-22 ~ 158°F) 非動作 (保管) 時の高度試験 : 25°C、4,572 m (15,000 フィート) 動作温度 : 0 ~ 50°C (32 ~ 122°F) 動作湿度 : 10 ~ 90% (結露しないこと) 動作高度試験 : 40°C、3,000 m (9,843 フィート) 						
システム メモリ	<ul style="list-style-type: none"> 2048 MB DRAM 1024 MB フラッシュメモリ 						
保証	制限付きライフタイムハードウェア保証						
利用可能な送信出力設定	2.4 GHz <ul style="list-style-type: none"> 23 dBm (200 mW) -6 dBm (0.25 mW) 			5 GHz <ul style="list-style-type: none"> 26 dBm (400 mW) -4 dBm (0.4 mW) 			
規制ドメイン	<p>注 : お客様の国における使用認可をご確認ください。認可状況および特定の国に対応する規制ドメインを確認するには、https://www.cisco.com/go/aironet/compliance を参照してください。</p> <p>規制ドメインのサポートの詳細については、シスコ規制ドメインのホワイトペーパーを参照してください。</p>						
適合規格	<ul style="list-style-type: none"> 安全性 : <ul style="list-style-type: none"> IEC 60950-1 EN 60950-1 AS/NZS 60950.1 UL 60950-1 CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 UL 2043 クラス III 機器 エミッション : <ul style="list-style-type: none"> CISPR 32 (rev. 2015) EN 55032 (rev. 2012/AC:2013) EN 55032 (rev. 2015) EN61000-3-2 (rev. 2014) EN61000-3-3 (rev. 2013) KN61000-3-2 KN61000-3-3 AS/NZS CISPR 32 Class B (rev. 2015) 47 CFR FCC Part 15B ICES-003 (rev. 2016 Issue 6、Class B) EN 301 893 (v2.1.1) AS/NZS 4268 (rev. 2017) 47 CFR FCC Part 15C、15.247、15.407 RSP-100 RSS-GEN RSS-247 中国における規制 SRRC LP0002 (rev. 2018.1.10) 日本 Std. 33a、Std. 66、Std. 71 EMI および感受性 (クラス B) RF の安全性 : <ul style="list-style-type: none"> EN 50385 (rev. Aug 2002) ARPANSA AS/NZS 2772 (rev. 2016) EN 62209-1 (rev. 2016) EN 62209-2 (rev. 2010) 47 CFR Part 1.1310 および 2.1091 RSS-102 IEEE 標準 : 						

項目	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> ◦ VCCI (V3) ◦ CNS (rev. 13438) ◦ KN-32 ◦ TCVN 7189 (rev. 2009) ● イミュニティ : <ul style="list-style-type: none"> ◦ CISPR 24 (rev. 2010) ◦ EN 55024/EN 55035 (rev. 2010) ● エミッションとイミュニティ : <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 301 489-1 (v2.1.1 2017-02) ◦ EN 301 489-17 (v3.1.1 2017-02) ◦ QCVN (18:2014) ◦ KN 489-1 ◦ KN 489-17 ◦ EN 60601 (1-1:2015) ● 無線機 : <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 300 328 (v2.1.1)
	<ul style="list-style-type: none"> ◦ IEEE 802.3 ◦ IEEE 802.3ab ◦ IEEE 802.3af/at/bt ◦ IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax ◦ IEEE 802.11h, 802.11d ● セキュリティ : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 802.11i, Wi-Fi Protected Access 3 (WPA3)、WPA2、WPA ◦ 802.1X ◦ Advanced Encryption Standard (AES) ● 拡張認証プロトコル (EAP) の種類 : <ul style="list-style-type: none"> ◦ EAP-Transport Layer Security (TLS) ◦ EAP-Tunneled TLS (TTLS) または Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol Version 2 (MSCHAPv2) ◦ Protected EAP (PEAP) v0 または EAP-MSCHAPv2 ◦ EAP-Flexible Authentication via Secure Tunneling (EAP-FAST) ◦ PEAP v1 または EAP-Generic Token Card (GTC) ◦ EAP-Subscriber Identity Module (SIM)

データレート/送信電力/受信感度 データレート/送信電力/受信感度の詳細については、[Cisco RF の詳細](#)を参照してください

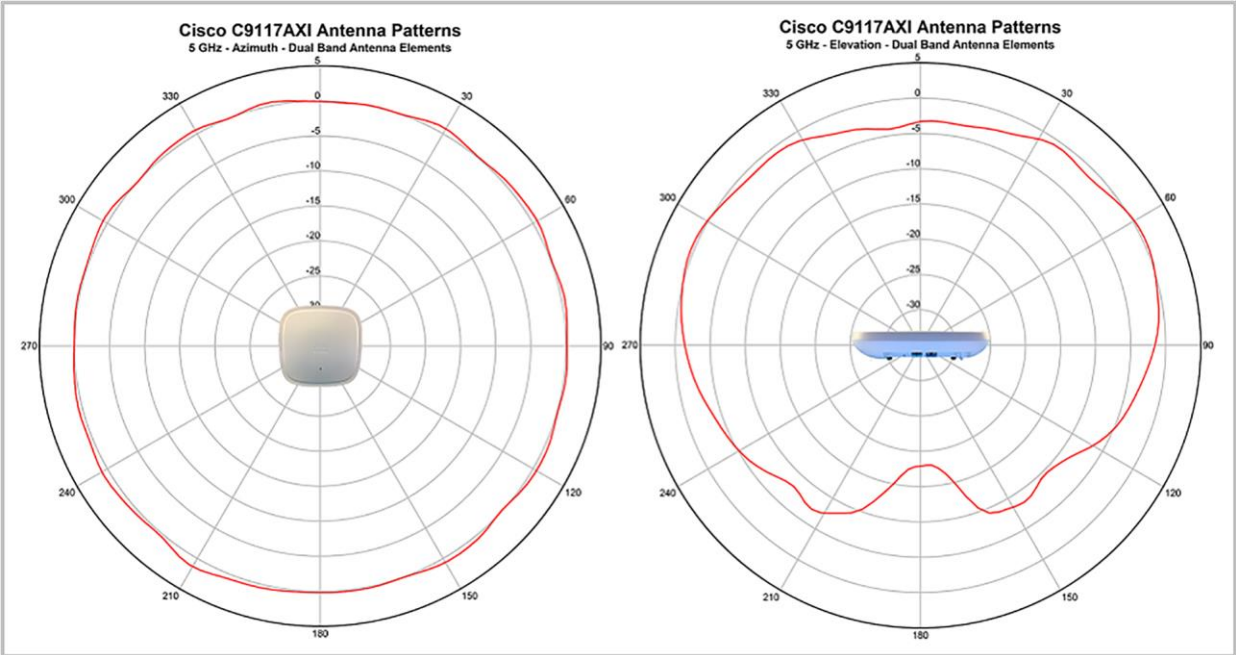
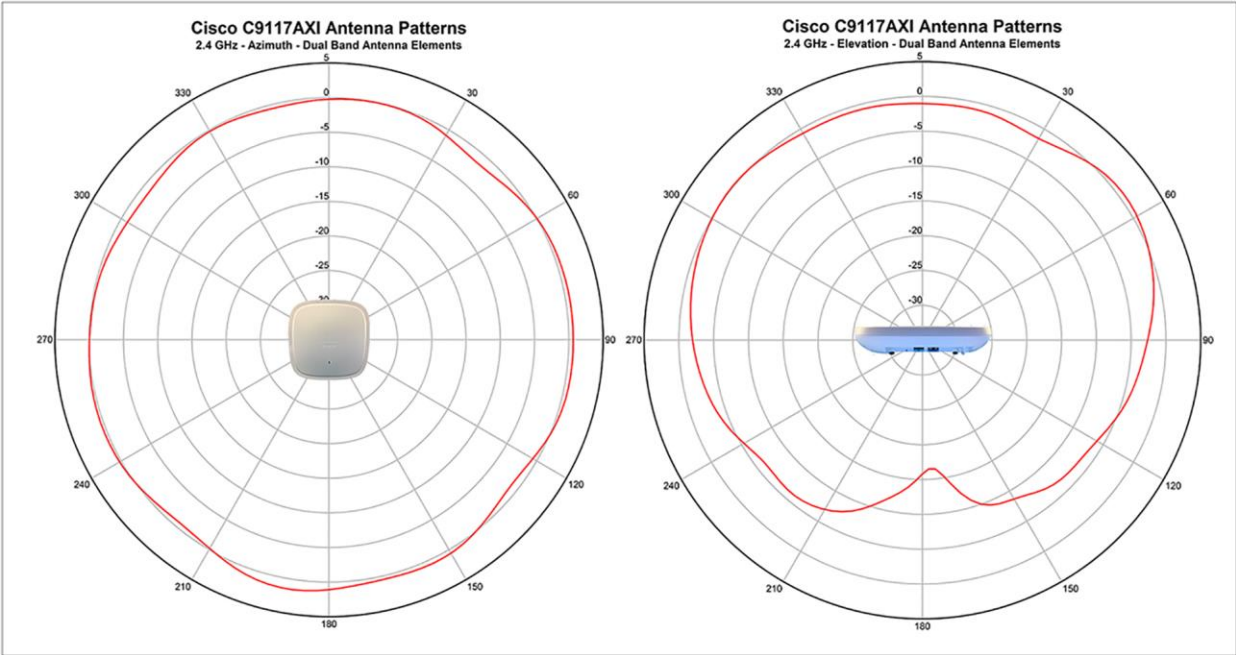
送信電力および受信感度

		5 GHz 無線		2.4 GHz 無線	
	空間ストリーム	総送信電力 (dBm)	受信感度 (dBm)	総送信電力 (dBm)	受信感度 (dBm)
802.11/11b					
1 Mbps	1	-	-	23	-98
11 Mbps	1	-	-	23	-89
802.11a/g					
6 Mbps	1	23	-95	23	-94
24 Mbps	1	22	-88	22	-87
54 Mbps	1	21	-79	20	-78

項目		仕様			
802.11n HT20					
MCS0	1	23	-95	23	-94
MCS31	4	20	-74	20	-73
802.11n HT40					
MCS0	1	23	-93	-	-
MCS31	4	20	-72	-	-
802.11ac VHT20					
MCS0	1	23	-95	-	-
MCS8	1	20	-75	-	-
MCS9	1	NA	NA	-	-
MCS0	2	23	-95	-	-
MCS8	2	20	-74	-	-
MCS9	2	NA	NA	-	-
MCS0	3	23	-95	-	-
MCS9	3	19	-72	-	-
MCS0	4	23	-94	-	-
MCS9	4	19	-71	-	-
802.11ac VHT40					
MCS0	1	23	-94	-	-
MCS9	1	19	-71	-	-
MCS0	2	23	-93	-	-
MCS9	2	19	-70	-	-
MCS0	3	23	-92	-	-
MCS9	3	19	-69	-	-
MCS0	4	23	-91	-	-
MCS9	4	19	-68	-	-

項目		仕様			
802.11ac VHT80					
MCS0	1	23	-91	-	-
MCS9	1	19	-67	-	-
MCS0	2	23	-90	-	-
MCS9	2	19	-66	-	-
MCS0	3	23	-89	-	-
MCS9	3	19	-65	-	-
MCS0	4	23	-88	-	-
MCS9	4	19	-64	-	-
802.11ac VHT160					
MCS0	1	23	-88	-	-
MCS9	1	18	-65	-	-
MCS0	2	23	-87	-	-
MCS9	2	18	-64	-	-
MCS0	3	23	-86	-	-
MCS9	3	18	-63	-	-
MCS0	4	23	-85	-	-
MCS9	4	18	-62	-	-
802.11ax HE20					
MCS0	1	23	-95	23	-94
MCS11	1	18	-68	16	-67
MCS0	2	23	-95	23	-94
MCS11	2	18	-67	16	-66
MCS0	3	23	-95	23	-94
MCS11	3	18	-66	16	-65
MCS0	4	23	-94	23	-93
MCS11	4	18	-65	16	-64

項目		仕様			
802.11ax HE40					
MCS0	1	23	-94		
MCS11	1	18	-65		
MCS0	2	23	-93		
MCS11	2	18	-64		
MCS0	3	23	-92		
MCS11	3	18	-63		
MCS0	4	23	-91		
MCS11	4	18	-62		
802.11ax HE80					
MCS0	1	23	-91	-	-
MCS11	1	17	-63	-	-
MCS0	2	23	-90	-	-
MCS11	2	17	-62	-	-
MCS0	3	23	-89	-	-
MCS11	3	17	-61	-	-
MCS0	4	23	-88	-	-
MCS11	4	17	-60	-	-
802.11ax HE160					
MCS0	1	23	-88	-	-
MCS11	1	16	-59	-	-
MCS0	2	23	-87	-	-
MCS11	2	16	-58	-	-
MCS0	3	23	-86	-	-
MCS11	3	16	-57	-	-
MCS0	4	23	-85	-	-
MCS11	4	16	-56	-	-



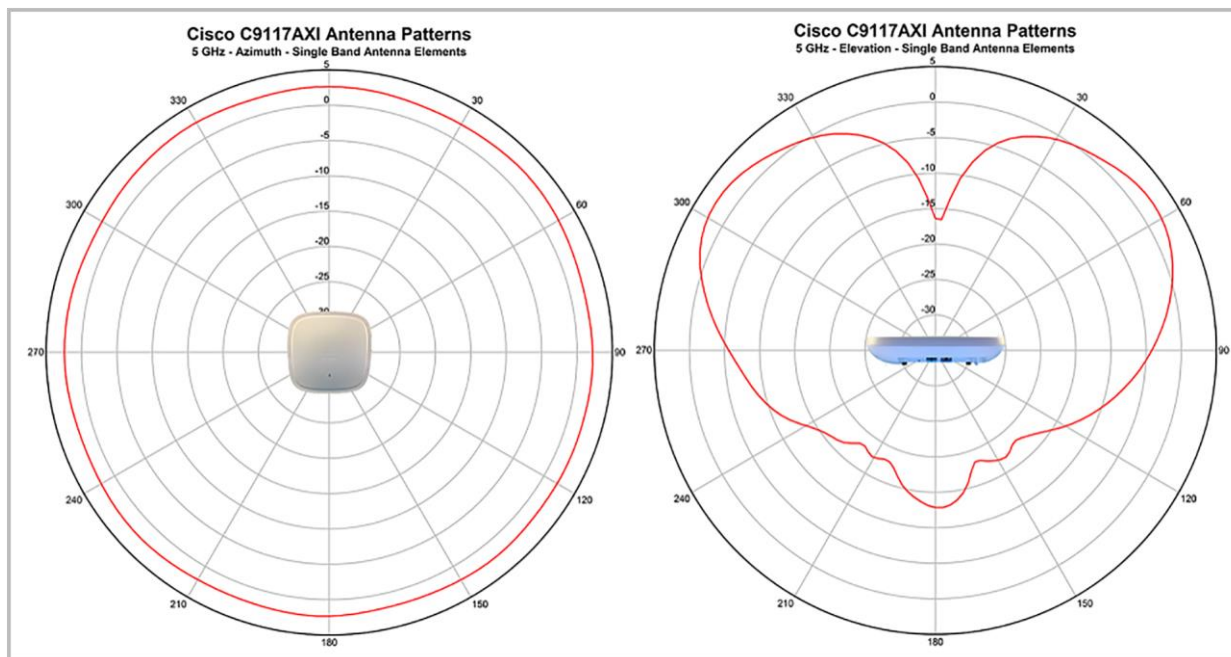


図 1. 9117I のアンテナ放射パターン

注： 機能サポートの詳細については、Cisco Catalyst 9100 のリリースノートを参照してください。

ライセンス

ライセンスおよびパッケージの詳細については、[Cisco ライセンス](#)を参照してください。

保証情報

Cisco Catalyst 9117 シリーズ アクセスポイントには、制限付きライフタイム保証が付帯します。この保証は、製品を最初に購入したエンドユーザが所有または使用し続ける限り、ハードウェアに対する包括的な保証を提供するというものです。この保証には、10 日以内の代替品先行手配が含まれます。また、ソフトウェアメディアについては、90 日間、障害が発生しないことを保証します。詳細については、<https://www.cisco.com/jp/go/warranty> を参照してください。

シスコの環境保全への取り組み

シスコの[企業の社会的責任 \(CSR\)](#) レポートの「環境保全」セクションでは、製品、ソリューション、運用、拡張運用、サプライチェーンに対する、シスコの環境保全ポリシーとイニシアチブを掲載しています。情報への参照リンクは次のとおりです。

製品の材料に関する法律および規制に関する情報 - 「[材料](#)」。

製品、バッテリー、パッケージを含む電子廃棄物法規制に関する情報 - 「[WEEE 適合性](#)」。

シスコは、情報が完全、正確、または最新のものであることを表明、保証、または確約しません。これらの情報は予告なしに変更されることがあります。

シスコ サービス

シスコサービスは、優れたインフラストラクチャを、低リスクで迅速に実現できるよう支援します。**Cisco Catalyst 9117** シリーズ向けのサービスでは、導入段階における **WLAN** への対応状況の評価から実装、完全なソリューションサポート、踏み込んだ内容のトレーニングに至るまでエキスパートによる支援体制を整えており、新しいアクセスポイントの計画、導入、管理、サポートを円滑に進めていただけます。ネットワーキングに関する、シスコサービスの比類ない専門知識、ベストプラクティス、革新的なツールにより、ネットワークにハードウェア、ソフトウェア、プロトコルを新しく導入する際のアップグレード、更新、移行にかかるコストを全体的に削減できます。シスコのエキスパートが提示する、包括的なサービスライフサイクルによって、中断を最小限に抑えた効率の高い運用を実現でき、**Cisco DNA** に対応したインフラストラクチャから最大限の価値を得られます。

Cisco Capital

目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital により、目標を達成するための適切なテクノロジーを簡単に取得し、ビジネス変革を実現し、競争力を維持できます。総所有コスト (TCO) の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 カ国あまりの国々では、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および他社製製品を購入するのに、シスコの柔軟な支払いソリューションを利用して、簡単かつ計画的に支払うことができます。[詳細はこちらをご覧ください](#)。

スマート アカウント

Cisco Smart Software Manager (SSM) を使用してスマートアカウントを作成すると、デバイスやライセンスパッケージの発注およびソフトウェアライセンスの管理を、一元化された **Web** サイトから実施できるようになります。スマートアカウントの詳細については、<https://www.cisco.com/jp/go/smartaccounts> を参照してください。

©2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2020年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先